



## 勉強することの意味

なぜ、勉強しなければならないのか？これは、いつの時代も学生にとって究極のテーマかもしれません。皆さんの中にも、家や学校で「勉強なさい。」と言われるから、しかたなくやっているという人が、いるかもしれません。そもそも、「勉強」という言葉の意味には、「無理に～をする。」というような意味があることを知っていますか。「精選版日本語大辞典（小学館）」には「勉強」の意味の一つに「気がすまないことを、しかたなしにすること。」とあります。漢字を分けて考えると、「勉」には「無理に力を出してはげむ。」という意味があります。「強」は「強いる」と書くと「しいる」と読み、「相手の意向を無視して、むりにやらせる。」という意味になります。（どちらも小学館「デジタル大辞泉」より）もともと、勉強には、苦勞がつきものなのかもしれません。

そういう私も、勉強よりは部活に青春をかけた学生時代でした。高校時代も、3年生でキャプテンになってからは、毎朝の早朝練習を自分たちだけで欠かさず行い、授業中に居眠りをすることもありました。いま思えば、恥ずかしい話です。その結果、成績も急降下。それでも、後で何とかなると思っていました。それは単なる根拠のない自信でしかなく、最後まで苦しむことになりました。

何とか、志望大学の一つに合格することができ、教師の道に進むことができました。その大学時代に、初めて勉強（専門の数学）がおもしろいと思うようになり、いろいろな論文を読んで証明に励んだり、英語の論文を訳して内容を証明し卒業論文にまとめたり、人生で一番勉強しました。その頃になって、中学時代・高校時代に勉強したことが役に立った実感を持ちました。数学はもちろんですが、英語や、先人が数学に取り組んだ時代背景を知る上で、社会科の勉強も役に立ちました。

勉強は、今のうちは、しかたなくするものかもしれません。嫌々するものかもしれません。楽しくてしかたないという人の方が、少ないかもしれません。でも、やっていてよかったという時が、必ず来ます。しかたなくしなくてもよい時になってからかもしれません・・・。

「進研ゼミ」で知られる「ベネッセコーポレーション」の関連サイトに、「勉強する7つの意味」が記されていました。

- 世界を広げるため ○ 将来の選択肢を増やすため ○ 何かを学ぶ方法を身に付けるため
- 生きる力を身に付けるため ○ 好きなことを楽しむため ○ 努力し続ける力を付けるため
- 自信を付けるため

皆さんは、どれがしっくりきますか？もちろん、一つにしぼる必要もありません。ただ、勉強することには、必ず皆さんにとってプラスになる意味があるということを、分かってください。後になって「よかった」と思える時が来るように、今をしっかり頑張ってください。まずは、木曜日からの中間テストに向けて、土日を含め、残りのテスト期間に全力を尽くしましょう。

## <三中生のちょっといい話>

最近、大きい声であいさつを返してくれる人が増えてきたなあと思っています。先日の雨の日も、給食の運搬時に廊下で立っていて、通る運搬係の人たちに「こんにちは！」と声をかけると、ほとんどの人が大きな声で「こんにちは！」と返してくれました。中には、恥ずかしそうに「こんにちは」と返してくれた人もいましたが、返してくれることがいいですね。学校中に、元気なあいさつの輪を広げましょう。さらに、自分から進んであいさつができる人が増えることを期待しています。

## <行事についてのお知らせ>

- 行事について、現時点でお伝えできる内容をお知らせします。詳細は、後日プリントをお配りします。
- **合唱コンクール**：10月23日（土）、1年生は2校時、2年生は4校時、3年生は6校時（1・3・5校時はそれぞれの学年のリハーサル）に、希望が丘体育館で入れ替えながら行います。保護者の方も各家庭1名のみ、入れ替わっていただきながらお子さんの学年のみ入場いただけるようにします。なお、行事の性質上、大変申し訳ありませんが、小さいお子さんを連れての入場はご遠慮ください。
  - **学校開放日**：密を避けた上での授業参観の一つの形として、学校開放日を設けます。11月16日（火）～18日（木）の3日間、それぞれ3～5校時を対象授業とします。生徒1名につき保護者の方1名で、期間中の参観は2回までとさせていただきます。

※ いずれも、感染拡大防止等のため制限を設けさせていただいています。ご理解・ご協力をお願いします。